

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第17号

第17週(4月22日～4月28日)

発行年月日:平成14年(2002年)5月8日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (17週)	累積報告数 (1週～17週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	4
	パラチフス	0	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	44
4類感染症	アメーバ赤痢	1	4	5
	急性ウイルス性肝炎	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	1	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	2	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	17週	増減	11週～16週
インフルエンザ	0.70		2.03
咽頭結膜熱	0.09		0.01
A群溶連菌咽頭炎	0.28		0.29
感染性胃腸炎	3.94		4.25
水痘	2.09		2.11
手足口病	0.06		0.07
伝染性紅斑	0.63		0.41
突発性発疹	0.69		0.54
百日咳	0		0
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	0		0.01
麻疹	0.34		0.07
流行性耳下腺炎	0.97		0.91
急性出血性結膜炎	0		0.02
流行性角結膜炎	0.14		0.33
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0.14		0.05
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.17
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、平成14年11週～16週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

3) 今週のトピックス

インフルエンザの発生 麻疹の増加が顕著

滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年11週～16週の平均と平成14年の17週を比較すると、咽頭結膜熱、伝染性紅斑、突発性発疹、麻疹等に増加傾向が見られます。また、4月に小学校において集団発生したインフルエンザ様疾患の患者5名のうち、現在のところ3名からインフルエンザB型ウイルスが分離されています。

麻疹の保健所別定点当たり患者数は、草津保健所管内が1.17、大津保健所管内が0.43、水口保健所管内が0.25となっています。麻疹の保健所別定点当たり患者数および年齢別発生状況は、下記のグラフのとおりです。

